

科目名 Course Name	保育の表現技術 I Expression Skill of Childcare I			ナンバリング No.	K4-014		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	岡泉 志のぶ						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程選択必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもにとって遊びは心身の発達に欠かせないものであり、遊びを表現活動に繋げて展開するためには、保育者の身体的能力や音楽的な能力が必要となってくる。この授業では、音楽、身体表現を主とした基礎的な技術に基づいて、乳幼児の成長と発達を子どもの表現遊びに展開できる技術を身につける。更に、表現活動に関わる指導法と総合的な表現活動へ発展できる保育技術の修得を図る。</p> <p>この授業の到達目標は以下の4つである。</p> <p>① 簡単な拍子でリズム打ちと身体的なリミックスの体験を通して、音楽の楽しさを表現することができるようにする。</p> <p>② 表現活動における指導法を学び、適切な方法でうたや手遊びをすることができるようにする。</p> <p>③ 子どもの音楽的成長を把握し、年齢に適した表現活動に応用することができるようにする。</p> <p>④ 日常の保育やお遊戯会の指導で、劇的編成や援助をすることができるようにする。</p>						
授業の方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で音楽的な実践力の習得を図る。発表では、グループでの模擬保育や実際にお遊戯会を設定して、総合的な音楽表現の技術を習得する。						
学習成果	L01	子どもたちと一緒に音楽リズムやリミックスの楽しさを表現することができる。					
	L02	年齢に応じた身体的、音楽的な活動に適した教材の選定と指導法を考案することができる。様々な場面に適した表現活動への展開、及び総合的な指導をすることができる。模擬保育では、保育内容の表現活動の理解を深め、子どもの表現を引き延ばすことができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	授業にてプリントを配布し、事前事後で学習したことを記入して提出する。課題レポートについては、授業で返却する。発表においては、模擬保育と最終発表後にそれぞれ講評をする。						
教科書/参考図書	随時、プリントや楽譜などを配布する。 参考図書: 幼児のための音楽教育: 教育芸術社、名作劇あそび: 自由現代社など						
履修上の留意点やルール等	●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	積極的に授業に参加し、表現活動には協調性を含めて楽しく活動できているかで評価する。	30			
レポート/作品	表現活動の計画案を提出し、内容と実践を照合して評価する。		20		
発表	模擬保育(保育者の演じる劇)として発表する中で、子どもへの環境や配慮、表現技術の習得を総合的に評価する。		50		
小テスト					
試験					
その他					
合計		30	70		

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意 幼児曲と表現活動について
	事前・事後学習	授業で紹介した幼児曲の譜読みをして楽曲の構成、旋律、実際に歌って練習する。事前・事後学習は、各回「確認シート」を記入して提出する。
2	授業内容	音楽リズムと表現① ー単純リズムと複合リズムー
	事前・事後学習	楽譜のリズムについて、実際に歌ってリズム打ちの練習をする。
3	授業内容	音楽リズムと表現② ー総合的なリズムとリミッター
	事前・事後学習	身体を使ってリズムや授業で学んだリミッターに発展させる練習をする。
4	授業内容	乳幼児の音楽表現技術① ー日常のうたと季節のうたー
	事前・事後学習	日常のうた3曲のピアノ練習をする。
5	授業内容	乳幼児の音楽表現技術② ー手遊びの実践ー
	事前・事後学習	年齢に相応しい手遊びを収集してまとめる。また、実践できるように練習する。
6	授業内容	乳幼児の音楽表現技術③ ー手遊びと絵本読み聞かせー
	事前・事後学習	第4回～6回のまとめとして、ピアノ伴奏から手遊び、絵本の読み聞かせを練習する。
7	授業内容	季節別の教材と指導法① 日常や行事での活動の教材選定
	事前・事後学習	保育ねらいと留意点をあげ、活動における教材選定をする。
8	授業内容	季節別の教材と指導法② 日常や行事での活動の指導法
	事前・事後学習	表現活動の方法と援助を考え、模擬保育の実践を練習する。
9	授業内容	身体表現を用いた創作表現活動① 選曲と年齢に応じた指導について
	事前・事後学習	子どもが楽しむダンスを調べて、年齢に相応しい動きを考える。
10	授業内容	身体表現を用いた創作表現活動② 総合的なリズム表現について
	事前・事後学習	実際に動きを想定して、子どもの年齢に応じた支援を考え、ダンスの練習をする。
11	授業内容	これまで学んだ模擬保育から教材を使用した指導案の作成
	事前・事後学習	次回の子どもの表現活動の教材について、映像や参考書で事前に学習する。
12	授業内容	子どもの総合的な表現活動についてー教材選定ー
	事前・事後学習	選定した教材について、どのような方法で活動を進めるかを考える。
13	授業内容	子どもの総合的な表現活動についてー指導法ー
	事前・事後学習	表現活動の展開を発展するためには、子どもへどんな支援をするのか、保育者の表現力を高めるためにはどのような技術が必要なのかを考える。
14	授業内容	総合的な表現活動の展開①(模擬保育:講評を含む)
	事前・事後学習	事前に表現活動の準備と各役割の確認、演技、台詞の練習をする。
15	授業内容	総合的な表現活動の展開②(模擬保育:講評を含む)
	事前・事後学習	事前に表現活動の準備と各役割の確認、演技、台詞の練習をする。事後学習としては、これまでの表現技術についてまとめ、個々の感性を高めることを心掛けていく。